

楽茶碗 の 華

Raku Tea Bowls and Splendor of Kyoto



色絵鶏香合 野々村仁清 江戸時代前期

と



赤楽茶碗 銘 僧正 長次郎 桃山時代



扇面貼文屏風(右隻部分) 室町~桃山時代
[2/26~3/24 展示]

2019年
1/11金 — 3/24日

◎開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
◎休館日／毎週月曜日 ※1月14日、2月11日(月祝)は開館
◎入館料／一般700円、高・大生500円(団体10名以上、各200円引)、
中学生以下無料(ただし保護者の同伴が必要)
◎講演会／2月23日(土)午後2時～3時30分 会場・当館イベントホール
演題「入門 楽茶碗―楽家代々のうつわ」 金子馨(出光美術館学芸員)
予約・定員120名、聴講料800円
◎列品解説／第2、第4日曜日 午前11時～、午後2時～
◎主催／出光佐三記念美術館、出光美術館、読売新聞社 ◎協賛／出光興産株式会社

出光美術館 門司
Idemitsu Museum of Arts, Moji

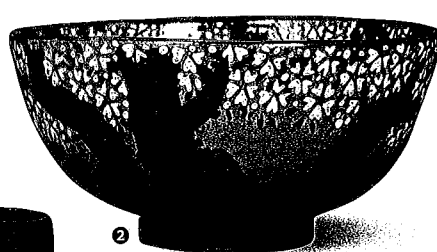
続古今集和歌巻(部分) 松花堂昭乗 寛永14年(1637)

楽茶碗と Raku Tea Bowls and Splendor of Kyoto 京の華

侘び茶が創始された桃山時代より、和物のうつわが茶道具の主流に躍り出ます。その中でも筆頭格に挙げられるのが、京都で生まれた楽茶碗です。千利休の手ほどきを受けた長次郎が、土味を生かした手づくねのうつわを創り出したことから始まるこの楽茶碗は、その圧倒的な存在感により、現代にいたるまで、茶人たちの魅了し続けてきました。この展覧会では、楽家代々の名品とともに、京の茶陶、さらには王朝の優雅をたたえる書画をあわせて展示いたします。



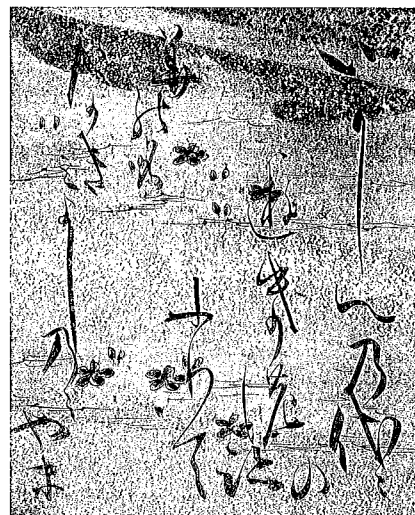
①



②



③



④

- ① 黒楽茶碗 銘 此花 道入(ノンコウ) 江戸時代前期
- ② 色絵桜楓文鉢 仁阿弥道八 江戸時代後期
- ③ 色絵梅花文四方香炉 野々村仁清 江戸時代前期
- ④ 花月帖(春) 伝 阿弥光悦 桃山時代

展覧会スケジュール [2018. 4-2019. 3]

2018 「近代日本の美」 2018年 4月13日(金)→6月17日(日)

幕末から明治維新の激動期を経て、新しい時を刻みはじめた近代の日本。西洋の技術や文化は、美術の世界にも大きな変革をもたらしました。温故知新を強く意識しつつ、時代の美意識に沿うような表現を探り続けたのが、これ以降、昭和時代にかけて活躍した作家たちでした。本展では、絵画・工芸の分野で、現代への扉を切り拓いた巨匠たちの奮闘のさまをご覧ください。その力強い足跡と、新鮮な輝きに満ちた作品の数々をご堪能ください。

2018 「祈りのかたち—仏教美術入門」 2018年 6月29日(金)→9月2日(日)

日本に伝来して以降、篤い信仰を集め続けてきた仏教。祈りの気持ちは美しい仏画や麗しい仏像を生み出しました。密教世界を图示した曼荼羅、憧れの極楽浄土図や裁きの世界を描いた地獄図、修行を通して悟りを求めた禅宗の祖師図など、各時代の代表的な仏教美術作品を一堂に展示し、仏への帰依と荘嚴の諸相をふりかえります。また、ルオーの油彩画もあわせてご紹介します。信仰が生み出した美の名品の数々をお楽しみください。

2018 「花鳥の彩り—雪舟と江戸絵画」 2018年 9月7日(金)→11月4日(日)

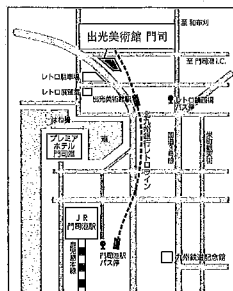
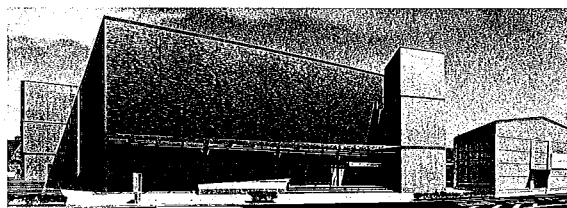
花鳥は、東洋・日本の美術作品の中でも最も愛された主題のひとつです。四季折々に咲く花は、詩歌に詠み継がれ、絵画の主題や工芸の意匠として定着しました。またこうした花々に集う鳥たちの姿も花とともに愛でられ、幸福や生命の象徴とされてきたのです。本展では、雪舟筆と伝わる「四季花鳥図屏風」をはじめ、江戸時代に描かれた花鳥画、さらには花鳥を題材とした工芸作品を通して、花鳥の意匠が織りなす魅力をご紹介します。

2018 「青磁と白磁」 2018年11月9日(金)→12月24日(月・休)

純粋さ、清廉さをイメージさせる白。空や海をイメージさせる青。その白と青に対する思想や美意識は東アジアでは白磁と青磁という陶磁器の世界にも表れています。しかも、白も青もひとことでは語れないほど繊細な違いやまたときには温かみのある質感、ときには緊張感のある印象を私たちに与えてくれます。東アジアで培われた古陶磁から近現代の白磁と青磁の優品から、その魅力にせまります。白磁? 青磁? あなたはどちらが好み?

2019 「楽茶碗と京の華」 2019年 1月11日(金)→3月24日(日)

開催中



【交通】
JR門司港駅より徒歩8分
(門司港レトロ地区内、レトロ駐車場前)
「北九州銀行レトロライン」は土・日・祝日の運行

出光美術館 門司

〒801-0853 福岡県北九州市門司区東港町2-3

※お車でお越しの際は、周辺の駐車場をご利用ください

【TEL】093-332-0251

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館) 年末年始および展示替期間

【入館料】一般700円/高・大生500円(団体10名以上、各200円引) 中学生以下無料(ただし保護者の同伴が必要)

※障害者手帳をお持ちの方は200円引、その介護者1名は無料

※「出光創業史料室」のみのご利用は、一般100円/中学生以下無料

【URL】<http://s-idemitsu-mm.or.jp/>

Idemitsu Museum of Arts, Moji

2-3, Higashi-minatomachi, Moji-ku, Kitakyūshū-shi, Fukuoka, 801-0853

【TEL】093-332-0251

【Open】10:00a.m.-5:00p.m.(Entrance Until 4:30p.m.)

【Closed】Monday (The museum will be open when Monday is a national holiday.), the year-end and New Year's holidays, and for change of exhibits.

【Admission】

Adults ¥700/High School & University Students ¥500 (Groups <10 or more> ¥200 Discount)

*¥200 Discount for Persons with Disability

(with Presentation of the Physical Disability Certificate and Free Admission for 1 Caretaker).

【URL】<http://s-idemitsu-mm.or.jp/>